

対象地域：茨城県



事務局：国土交通省関東地方整備局霞ヶ浦河川事務所

対象地域：茨城県（霞ヶ浦（西浦）
中岸の田村揚排水樋管から戸崎1号排水樋管に至る区間（概ね西浦中岸の延長3.5km）の沿岸域）

設立日：H16.10.31

全体構想作成日：H17.11.27

実施計画作成日：H18.11.27 (A区間)
H19.9.14 (B区間)
H27.7.10 (C～I区間)
(R4.3現在)



協議会での環境管理活動
協議会で定期的にゴミ拾いや草刈り等の環境管理を実施しています。

関連ホームページ 国土交通省霞ヶ浦河川事務所ホームページ：https://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi_index012.html

対象地域：埼玉県



事務局：埼玉県、川越市、所沢市、狭山市、三芳町

対象地域：埼玉県川越市、所沢市、狭山市、三芳町
(埼玉県南部市街地の間に位置する大規模な平地林約152ha)

設立日：H16.11.6

全体構想作成日：H17.3.12

実施計画作成日：検討中
(R4.3現在)



くぬぎ山を上空から望む

再生課題：湖岸環境の保全・再生及び湖岸景観の再生

霞ヶ浦田村・沖宿・戸崎地区自然再生協議会

再生目標

多様な動植物が生育・生息し、里と湖の接点を形成する湖岸帯の保全・再生を目指す。



自然再生の手法

- ▶ 人と湖のつながりの再生
- ▶ 湖岸環境の保全・再生
- ▶ 湖岸景観（場）の再生



H区間（平成30年8月）
突堤や潜堤を作り、内側の静水域はワンドとして整備しました。（平成29年度完成）
今後は水際部の植生繁茂が期待されています。

ここに注目！

整備後における適切な植生管理

平成30年度に整備が終り、現在はモニタリング調査を実施しつつ、植生の遷移状況を確認しています。特定外来生物であるミズヒマワリの侵入がみられるなど、外来種の繁茂が課題となっており、継続した駆除活動にも力を入れています。



B区間環境学習状況
B区間ワンドは、水生生物調査、ボート体験など環境学習の場として利用されています。

再生課題：平地林の再生

くぬぎ山地区自然再生協議会

再生目標

高度経済成長期前のかつての武蔵野の平地林のような、人とのかかわりによって育まれてきた多様な自然環境の再生を目指す。



自然再生の手法

- ▶ 廃棄物処理施設の撤去
- ▶ 実生や根株の移植などによる植生の復元
- ▶ 荒廃雑木林の整備

くぬぎ山は、首都圏30km圏内にあり、武蔵野の美しい里山景観の面影を現在に伝える大規模な緑地空間です。

しかし、近年里山における農業的な利用の減少、都市化に伴う土地改変、廃棄物処理施設の乱立など、里山林の適正な管理や周辺環境の悪化が課題となっています。

このことから、①平地林の荒廃を抑制し、豊かな緑と生物の多様性を維持する、②平地林の改変を抑制し、武蔵野の風景を将来世代に引き継ぐ、③改変施設の移転誘導を計画的に進め、改変地を復元し、良好な平地林を再生する、④利活用を図り平地林の新たな価値を創造する、ための取り組みを進めています。



保全管理活動



保全管理活動

関連ホームページ

埼玉県ホームページ：<https://www.pref.saitama.lg.jp/kurashi/kankyo/shizen/kunugiyama/index.html>